



木次線存続に向けて

勝田町長が国へ要望活動を行う

(左から) 平林剛松江市副市長、勝田町長、石飛厚志雲南市長、赤羽一嘉国土交通大臣、細田博之衆議院議員、青木一彦参議院議員

J R木次線の存続に向け、勝田町長が4月13日、沿線自治体の松江市、雲南市とともに国土交通省などを訪れ、赤羽国土交通大臣や島根県選出国會議員等に対して要望活動を行いました。

現行の鉄道事業法は、地元の同意なしに事業者の判断で路線を廃止できるため、2018年(平成30年)に廃止された三江線を教訓として、J R木次線沿線自治体の危機感が高まっています。

現在、木次線利活用推進協議会などで取り組む、地方ローカル線を活かした地域活性化策のほか、生活への影響を国に評価していただけるよう要望しました。

町民の皆さまには、先月4月号でお知らせしましたJ R木次線の利用に対する助成制度などをぜひご利用いただき、積極的なご利用をお願いします。

国の名勝・天然記念物 鬼の舌震川開き



神事の様子

鬼の舌震で4月23日、川開き安全祈願祭が行われました。地元関係者など15名が出席し、シーズン中の安全と観光振興を祈願しました。

奥出雲町観光協会の勝田会長は「現在、町では世界農業遺産の認定に向けて取り組んでいます。観光協会でも、「鬼の舌震」や棚田などの素晴らしい地域資源を活かした景観を楽しめる旅行商品を企画し、交流人口の拡大に努めます。」とあいさつを述べました。

鬼の舌震は、夏は新緑、秋は紅葉が楽しめる観光スポットです。川開き当日も、多くの観光客が訪れ、春の心地よい陽気の中で景観を楽しんでいました。

町内道の駅へ 小型発電機と投光器が 寄贈されました

一般社団法人日本道路建設業協会中国支部から道の駅酒蔵奥出雲交流館と道の駅奥出雲おろちループへそれぞれ小型発電機と投光器が寄贈され、受納式が4月20日に役場仁多庁舎で行われました。

同協会同支部では、地域社会の利益と発展に貢献する活動の一環として、平成27年から自然災害等の救出活動や復旧活動に役立ててもらおうと中国地方の道の駅に小型発電機と投光器を寄贈されています。寄贈された小型発電機は、非常用電源として使用されます。



(左から) 松江国道事務所 藤田所長、道の駅奥出雲おろちループ 藤原駅長、勝田町長、道の駅酒蔵奥出雲交流館 上田駅長、一般社団法人日本道路建設業協会中国支部 田中幹事

奥出雲町議会14名の新議員が決定

任期満了に伴う奥出雲町議会議員一般選挙が4月13日告示、18日投開票で行われました。定数14人に対し、現職9人、新人8人の計17人が立候補し、開票の結果、14名の新しい議員の皆さんが決まりました。(掲載順は届け出順です)



小田川 謙一

無所属・1期
(上阿井・66歳)



川西 明德

日本共産党・3期
(三成・71歳)



糸原 文昭

無所属・1期
(小馬木・62歳)



北村 千寿

無所属・1期
(大呂・60歳)



糸原 壽之

無所属・2期
(八川・69歳)



田食 道弘

日本共産党・2期
(小馬木・62歳)



高橋 恵美子

公明党・1期
(亀嵩・57歳)



内田 裕紀

無所属・1期
(亀嵩・65歳)



景山 利則

無所属・2期
(河内・73歳)



内田 雅人

無所属・3期
(三成・55歳)



大垣 照子

無所属・5期
(高尾・72歳)



藤原 充博

無所属・5期
(下阿井・70歳)



石原 武志

無所属・3期
(八代・68歳)



内田 精彦

無所属・4期
(中村・75歳)

選挙情報

確定有権者数	男	5,039人
	女	5,442人
	計	10,481人
	投票者数	
投票者数	男	3,922人
	女	4,199人
	計	8,121人
	棄権者数	
棄権者数	男	1,117人
	女	1,243人
	計	2,360人
投票率	男	77.83%
	女	77.16%
	計	77.48%